

北九州市民の会ニュース

「地方創生」を問い直す ～住民自治と地域再生を考える～

岡田知弘氏(京大教授)が100分講演で明快に
解き明かす

10月10日(土)、市民の会主催の市民講座
「地方創生を問い直す」が開催され、60名
が参加、市民運動に展望が開ける有意義な学
習会になりました。

第一部、岡田知弘教授は、100分の熱弁で、
明快に住民自治と地域再生のあり方を語りま
した。

講演内容は次の5つの論点から構成されて
いました。

1 安倍流「富国強兵」型国家づくりと「究極
の構造改革」としての道州制・TPP 2 日本
創生会議・増田レポートの「自治体消滅」論
の意味 3 「増田レポート」を検証する～地
域再生の正しい処方箋をつくるために～ 4
地域を「活性化」するとはどういうことか 5

地域再生の対抗軸と地方自治体の役割でし
た。講演内容は、私たちの住む北九州市のま
ちづくりに指針と展望を与えました。寄せら
れた感想の一部を紹介します。

住民の立場から、地域での取り組みの方向
と根拠について展望がわかりました。今後、
レジュメと先生の解説を血肉化したいと思
いました。参考文献と植木枝盛氏の言葉、有
りがたいです。京都大学の「先生」とも思
えぬ親しみやすいやわらかな表情で話をさ
れ、レジュメの中身に集中できました。話さ
れた方、事務局の皆さん、ありがとうございました。

岡田先生の講演は、とってもわかりやすく、
大企業のために税金を使うのではなく、自分
たちが納めた税金は、自分たちが使う住民
自治に、自治体づくりの目標が住民の幸福
度を高めることにある。わかりやすい。

TPP問題について理解を深めることが
できました。これからの日本を考えると、不
安になります。宮崎県西米良村みたいに”
国民の幸福度を高めること”を目標に、国
の政策を決めて欲しいと思います。

とても良かった講演会でした。福岡県は
「中小企業振興条例」「福岡県都市計画」が
決まりました。今日のお話を先に聞き学んで
いたら、もっと厳しく追及していたと思
います。もったいなかったですが、今後
もっと学習して条例や計画をどのように実
現するかを考えると、心がワクワクしま
す。若松区は場末にされていますが、多
くの富を生み出しています。一方でゴミ
捨て場になっています。区の個性は、農
・工・商・住全てがある素晴らしい場
になっていること。これを生かすよう
に新潟市のようになっていくように運
動していきます。

第2部では、5人の意見発表がありました。
「5人による意見発表も大変良かった。具
体的事実に基づき現場の実態、それぞ
れの問題点がよく理解できました。ご
苦労様でした。」という感想が寄せら
れたようにまとまった発言をしてい
ただきました。

三浦日佐代氏「八幡市民会館・図書館を
残そう」

出口節子氏「学校給食嘱託職員の継続
雇用を」

遠藤一寛氏「北九州の介護問題」

森匡史氏「中小企業振興条例について」

石田康高氏「9月市議会報告」

岡田講演は、市民の会ホームページ
からレジュメ(ダウンロード)を見
ながら試聴できるようになっていま
す。



平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail;koe@siminnokai.com

北九州市民の会ニュース

戦争展・戦跡ツアーに参加しました！ 偲ばれる、特攻青年の胸の中。

三輪俊和

10月12日(月祝)に「第21回平和のための戦争展in北九州」戦跡めぐりに参加しました。私は、長年、戦争展実行委員長なのに、一度も戦跡めぐりはしていませんでした。総勢13名でしたが、門司港の秋日和、うみは穏やかで70年前の自然の景観と変わらずとも、当時の海上特攻基地で明日のない訓練を強いられていた青年幹部候補生の胸中が思いやられた一日でした。門司港からの出征兵士に関わる施設と蕪島の水上特攻基地跡めぐりがメインでした。

皆さんは御存知でしたでしょうか。私は知らなかったのですが、門司港から200万人の兵士が出兵し、100万人以上の兵士が帰らぬ人となりました。先の侵略戦争は、2000万人のアジア人と300万人の日本人が犠牲者となったと学んでいましたので、出征兵士の碑を見て、門司港から出征し、犠牲者となられた人の多さに重苦しい衝撃を受けました。

全国で70万～100万頭と言われる軍馬は、水飲み場で故郷の最後の水を飲み、輸送船に乗り込まされました。再び帰国した馬は1頭もいない。私たちは、門司港西岸壁を歩きながら、想像を逞しくして「アジア侵略戦争の出兵と収奪の港」に思いを馳せました。

それから3台の車に便乗して、蕪島に向かいました。

「これが蕪島か」。島というより岩礁ではないか。

蕪島は、海上特攻基地跡を鮮明に残していました。

この蕪島海岸で、「海上の防衛」をする陸軍船舶部隊がつくられ、4式肉薄攻撃艇で敵艦に特攻攻撃する訓練が16才～18才の特別幹部候補生に強制されました。

蕪島のあちこちの岩礁にある洞穴に、4式肉薄攻撃艇を格納し、特攻出撃訓練を繰り返していました。海軍約1000名、陸軍約540名の若者が天皇制軍国主義の無残な犠牲となりま

した。毎年のことながら、北九州平和資料館の小野逸郎さんが配布された資料をもとに、気持ちを込めた説明をしてくださいました。ありがとうございました。来年以降も、さらに参加者が増えて続いてほしいと思いました。



蕪島の海軍水上特攻艇を隠した洞穴

今後の予定

- ・北九州憲法共同センター第2回総会
10月17日(土) 14:00～
北九州市商工貿易会館2階ホール
記念講演
「戦争はなぜ止められなかったのか」
講師 原田敬一 佛教大学教授
- ・「平和をあきらめない～安保法制の廃止を
求める市民アピール」
10月19日(月) 18:00～19:30
小倉駅ペDESTリアンデッキ
- ・市民講座「マイナンバー制度」
11月14日(土) 14:00～
コムシティ子どもの館
- ・「さよなら原発！北九州連絡会」金曜行動
毎週金曜日 18:00～19:00 小倉駅前
- ・秘密保護法・集団的自衛権行使反対！土曜
行動
隔週土曜日 11:00～12:00 小倉駅前